

平 成 24 年 度  
事 業 報 告 書

公益財団法人日本レクリエーション協会

## 目 次

	(ページ)
平成 24 年度の事業運営の報告 (概要)	1
1.公認指導者養成事業等の人材育成事業の拡充	3
( 1 ) 公認指導者養成事業の活性化	
( 2 ) 公認指導者の審査、認定に関する事業と資格制度の仕組みの再構築	
( 3 ) 人材育成事業・研修事業の広報の強化	
2.加盟団体への組織支援及び地域組織等の育成 強化	14
( 1 ) 加盟団体組織強化への支援	
( 2 ) 都道府県レク協会との連携による市町村レク協会等の地域組織の育成・強化	
( 3 ) 既存組織の活性化を支援する事業の実施	
( 4 ) 加盟団体の活動及びその成果に関する広報の強化	
3.イベント、大会、教室等の事業拡充によるレクリエーション運動の推進	20
( 1 ) 全国規模の大会等のイベント事業への活性化	
4.東日本大震災復興にかかる支援事業	24
=東日本大震災支援事業 [笑顔 Again] プロジェクト=	
5.新スポーツ基本計画に伴うスポーツ・レクリエーションの振興を推進する事業の展開	27
( 1 ) おやこ元気アップ！事業	
( 2 ) 高齢者の体力づくり支援事業	
( 3 ) 健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業	
( 4 ) ライフステージに応じたスポーツ活動推進のための調査研究	
( 5 ) その他のスポーツ振興事業	
6.レクリエーション活動のための用具・書籍等の販売及び開発	37
7.その他の事業	38
[平成 24 年度 都道府県別公認指導者数一覧]	40

## 平成 24 年度の事業運営の報告 (概要)

平成 24 年度は、国民一人ひとりの生きる喜び、元気づくりに向けたレクリエーション運動の推進のために、下記の 4 点に力点を置き、より一層の人材の育成・拡充と各加盟団体や公認指導者との連携・協働の促進を図り、人々の笑顔と元気の復活につながるさまざまな事業を実施した。特に、スポーツ基本計画に基づく文部科学省等の委託事業、スポーツ振興センター等の助成を活用した事業を展開し、多くの成果を得ることができた。

また、平成 24 年度は、「Smile for all」の合言葉のもとに、当協会及び加盟団体等が展開する普及・啓発事業並びに東日本大震災被災地支援事業等を実施し、それらの成果等に関する情報を、月刊レクルー、ホームページ、その他の媒体等を通じて発信し、レクリエーション運動に対する理解を広げ、社会的な評価を高めることにつながった。

### 施策の力点

1. 新たな人材の拡充
2. 公認指導者の活動の場の充実と組織の強化
3. 市民がレクリエーションに親しむ機会（イベント、大会、教室等）の活性化
4. 事業の成果の発信強化と外部からの新しい力の獲得

### < 主な事業の進捗と成果 >

#### 1. 公認指導者養成事業等の人材育成事業の拡充 269,318千円 (支出)

(1) レクリエーション協会及び課程認定校（高等教育機関 大学、短期大学、専門学校等における指導者養成校）における公認指導者養成事業の活性化に向け、指導者養成用広報ツールや介護系、幼児教育系課程認定校拡充に向けた新パンフレットの作成、各種助成事業を通じての啓発事業の実施、HPにおける新サイトの立ち上げ等をすすめた。当該年度での成果はまだ出ていないが、今後の人材養成事業の活性化へ期待したい。

(2) 時代のニーズに対応した公認指導者養成制度の内容、仕組みの再構築につながる検討の機会を、さまざまな委託事業における研究会での論議や研究実績の蓄積等を通じて、情報を整理し、方向性をより精緻に検討することができた。

(3) スポーツ基本法の理念の実現を支えるスポーツ・レクリエーション事業及びスポーツ・レクリエーション支援者の育成を進めるための環境づくりの課題に対して、文部科学省と協議を開始した。

(4) ホームページその他の媒体を通じて、レクリエーション支援に関わる人材の必要性、重要性に関する情報発信及びそれらの人材育成事業に関する広報に力を注いだ。

#### 2. 加盟団体への組織支援及び地域組織等の育成 強化 53,334千円

(1) 国の委託事業、全国規模の大会、会議等の開催及び助成事業を通じて、レクリエーション運動を推進する加盟団体への組織強化支援及び種目等の普及促進の支援を図った。

(2) 都道府県レク協会との連携により、レクリエーション公認指導者の新たな活動の場の拡大につながる事業や指導者の活動の拠点となる市町村レク協会等の地域組織の育成、強化への取り組み等により、多くの成果を得ることができた。

### 3. イベント、大会、教室等の事業拡充によるレクリエーション運動の推進 39,987千円

(1) 福井県で開催された「第66回全国レクリエーション大会INふくい」は、文部科学省が共催に加わり、開催県の特徴を活かした大会として、延べ15000名が参加し、成功裡に開催することができた。また毎年5月を中心に全国で展開される全国一斉「あそびの日」キャンペーン事業は今までにない多数のプログラム数と参加者を得て実施することができた。

(2) 国の委託事業及び助成事業等を通じて、これまでの連携団体、機関に加えて、新たな団体や協力者との連携により、一般市民はもとより、子どもや高齢者、障がい者等の交流イベント、教室等の事業を実施することができ、レクリエーション活動の更なる啓発につなげることができた。

### 4. 東日本大震災復興に係る支援事業 13,675千円

(1) 平成23年度に引き続き、岩手、宮城、福島県のレク協会との連携により、24年度は553回の避難所や仮設住宅の集会所等での支援活動で、約113,300人の被災者への継続的な支援を行うことができた。また支援活動を行うにあたり、支援に関わる人材育成のための研修会を30回以上行い、700人近いボランティアや生活支援員等が参加して、ボランティアの育成と新たな団体等との連携、協力の輪が広がるなどの多くの成果を上げることができた。

### 5. 新しいスポーツ基本計画におけるスポーツ・レクリエーションの振興への参画 159,757千円

(1) 文部科学省の委託事業による「子どもの体力向上推進事業・おやこ元気アップ!事業」の他に、24年度は、「高齢者の体力づくり支援事業」、「健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業」などの新事業が加わり、各都道府県レク協会をはじめ各団体、機関の連携・協力により多くの成果や実績を残すことができた。

### 6. レクリエーション活動のための用具・書籍等の販売拡大と開発 150,079千円

(1) レクリエーション運動推進の財政基盤を支えるレクリエーションの用具・書籍等の販売事業については、販売拡大に向けた広報PRと新商品の開発を行うも、当初想定した販売実績には到達せず、その波及効果は次年度以降に期待するに止まった。

# 1.公認指導者養成事業等の人材育成事業の拡充

## (1)公認指導者養成事業の活性化

### 1 都道府県レク協会と連携した公認指導者養成事業の活性化への支援

スポーツ・レクリエーション指導者養成講習会の開催 <スポーツ振興くじ助成事業>

子どもから高齢者まで多様化するニーズに応えるため、対象に応じたプログラムの展開や、日頃からスポーツになじみがない人にも、スポーツ・レクリエーションを楽しめるプログラムを提供できる指導者の育成を目指し、全国10地区にて講習会を実施（委託）した。

ア．実施地区

千葉県柏市、新潟県、岐阜県2ヶ所、愛知県碧南市、  
兵庫県、愛媛県、佐賀県、長崎県、大分県

ボランティア育成サポートセンターの支援

ア．子どもの居場所ボランティア育成・活性化サポートセンター

イ．介護予防・認知症予防ボランティア育成・活性化サポートセンター

\* 事業名：子どもの居場所指導員・ボランティア向けコミュニケーションスキルアップ  
研修会 <子どもゆめ基金助成事業>

都道府県レクリエーション協会が設置する子どもの居場所づくりボランティア及び介護予防ボランティア育成・活性化サポートセンターに対し、モデル事業の成果媒体の提供や、各地の取り組み情報等の提供を行った。なお、子どもゆめ基金の助成を受け、放課後子ども教室や児童センター等で活動するボランティア向けのスキルアップ事業を実施した。

実施地区：石川県、奈良県、愛媛県、山口県

レクリエーション支援者の裾野の拡大に向けた事業

レクリエーション・ボランティアの学習過程や活動実績をレクリエーション・インストラクター等の公認指導者資格取得の一部単位として認める制度の整備・普及を行った。

・ 千葉県白井市において白井市と協働でボランティア養成講座モデル事業を企画し、試験的にボランティア養成講習事業を開催した。

都道府県レクリエーション協会と連携した公認指導者等の養成の拡充に向けた支援

ア．月刊レクルーを活用して都道府県レク協会が行う公認指導者養成事業の広報・PRや講習会への職員の派遣等による支援を行った。

イ．都道府県レク協会及び市町村レク協会が行う養成事業を担う講師の育成について講師養成トレーニング研修の実施等による支援を行った。

ウ．現場に即した学習プログラム等の調査研究開発、都道府県レク協会と連携した養成事業のモデル開発及び成果の発信等、都道府県レク協会及び市町村レク協会が行う養成事業の効果的な教育内容の伝達講習会を実施した。

### 2)大学、短期大学、専門学校における公認指導者養成の拡充

高等教育機関との連携の拡充（課程認定校制度の普及）

<平成24年度課程認定校 養成課程数>

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	332課程
余暇開発士認定校	1課程
レクリエーション・コーディネーター認定校	10課程
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	30課程
合計	373課程

<平成25年度課程認定校 養成課程数>

「公認指導者養成制度」に基づき、公認指導者の養成を行うことのできる大学、短期大学、専門学校が課程認定審査を行った。

養成する資格種別	養成課程数
レクリエーション・インストラクター認定校	324(新規:21、減少:29)
余暇開発士認定校	1(新規:0、減少:0)
レクリエーション・コーディネーター認定校	10(新規:0、減少:0)
福祉レクリエーション・ワーカー認定校	27(新規:0、減少:3)
合計	362課程(新規21、減少32)

( )内は、平成25年度の新規課程数及び減少した養成課程数

研究、教育組織の育成、支援及び研究者・教育者の育成、支援

\* 領域別課程認定校集会の開催(課程認定校研究連絡会議との共催)

レクリエーション・コーディネーター養成課程認定校集会においては、養成カリキュラムの紹介と課程認定校における導入方法、及び今後のスケジュールの確認を行った。

また福祉レクリエーション・ワーカー養成課程認定校集会においても同様に、養成カリキュラムの紹介と課程認定校における導入方法、及び今後のスケジュールの確認を行った。

資格名	開催期日	会場	参加者数
レクリエーション・コーディネーター	11月18日(日)	貸教室・貸会議室 内海 101教室	17名
福祉レクリエーション・ワーカー	11月23日(金・祝)	貸教室・貸会議室 内海「4F教室」	18名

課程認定校教員のためのレクリエーション・インストラクター養成講習会

課程認定校において、教員の異動により急遽レクリエーション・インストラクター資格が必要になった教員に対して、短期集中型の養成講習会を開催した。

この講習会は、教員に限定して開講したことから、科目のポイントを伝えるだけでなく、演習方法や教授法のクリニックなど、参加した教員の教授力向上にも寄与する機会となった。

開催期間・会場：平成 24 年 12 月 22 日（土）～24 日（月）貸教室・貸会議室 内  
海  
平成 25 年 2 月 23 日（土）～24 日（日）国立オリンピック記念青  
少年総合センター

参加者数：18 名

新規認定校拡充に向けてホームページを作成

H P Rec School Start <http://recschoolstart.recreation.or.jp/>

新規認定校拡大のための PR パンフレット作成 配布

新規認定校拡大のための PR パンフレットの作成 2 種類（介護・幼児学校向け）

介護系学校向け

【タイトル】

楽しさを活用して利用者の支援に臨むことができる専門資格

レクリエーション・インストラクター資格のご紹介

幼児系学校向け

【タイトル】

楽しさを活用して子どもや親への支援にむことができる専門資格

レクリエーション・インストラクター資格のご紹介

\* 各 2,000 部作成

\* 配布先 都道府県レク協会

介護系 大学・短大・専門 約 380 箇所

幼児系 大学・短大・専門 約 250 箇所

既存認定校への支援活動

\* 子どもチャレンジ共和国 2012

< 子どもゆめ基金助成事業 >

既存認定校の学生の活躍の場を構築し、学生の資格取得率の向上を図った。

< 開催県・協力校・開催場所 >

愛知県

協力校 岡崎女子短期大学

開催場所 岡崎女子短期大学体育館

2012 年 11 月 18 日（日）

学生参加 90 名

福岡県

協力校 福岡 YMCA・九州大谷短期大学

福岡リゾート&スポーツ専門学校

福岡大学

開催場所 大濠公園 福岡市美術館北芝生広場

2012 年 11 月 17 日（土）

学生参加 89 名

スポーツ・レクリエーション学習パンフレットの制作 配布

< スポーツ振興くし助成事業 >

タイトル：スポーツ指導者・教育者を目指すための

「コミュニケーションワーク」のすすめ

スポーツや教育の支援の現場で活動する指導者、関係者及び都道府県レク協会、レクリエーション指導者養成課程認定校等に配布し、レクリエーション支援の学習のためのツールのひとつとして提供した。

3) 専門資格養成事業

専門資格通信教育課程の実施

ア. レクリエーション・コーディネーター養成講座 < スポーツ振興くじ助成事業 >

地域活動や都道府県レク協会等が実施する事業において活躍が期待される実践力のある指導者を養成するために、本年度は神奈川県、岡山県のレクリエーション協会に協力していただき、地域で実際に行われている事業を題材に講習会を展開した。

\* 通信教育課程新規受講生 28名

\* 講習会

全国6会場(3コース各2会場)にて2日間の講習会を開催した。

回数	開催地	開催日程	会場	A	B	C
53	岡山A	7月14日、15日	岡山県立図書館(岡山市北区)	16	-	-
54	横浜A	8月4日、5日	横浜YMCA学院(横浜市中区)	10	-	-
55	岡山B	9月15日、16日	岡山県立図書館(岡山市北区)	-	17	-
56	横浜B	10月27日、28日	横浜YMCA学院(横浜市中区)	-	12	-
57	岡山C	11月10日、11日	岡山県立図書館(岡山市北区)	-	-	16
58	横浜C	12月1日、2日	横浜YMCA学院(横浜市中区)	-	-	11
合 計				26名	29名	27名

イ. 福祉レクリエーション・ワーカー養成通信教育課程

学習内容の見直し作業と連動し、スクーリングのプログラムを展開した。今年度も昨年度に引き続きケアプラン等の介護計画とレクリエーション支援をより連動させて実施できるようになることを目指し、学習内容の改編に取り組んだ。この成果として、福祉レクリエーション・ワーカー養成カリキュラムの改定につなげることができた。

本年度は鹿児島県、京都府、長野県、東京都で開催した

なお、スクーリングのプログラムについては、一部を一般の受講生に開放し「介護レクリエーション・セミナー」として開催した。

\* 通信教育課程の実施

新規受講生 78名

\* スクーリングの開催

回	開催地	会場	日程	受講者数		
				A	B	計
第 160 回	京都 A	京都テルサ（京都市南区）	8/18～20	20	-	20
第 161 回	鹿児島 A	かごしま県民交流センター（鹿児島市山下町）	8/24～26	4	-	4
第 162 回	長野 A	長野バスターミナル会館（長野市岡田）	8/31～9/2	11	-	11
第 163 回	鹿児島 B	かごしま県民交流センター（鹿児島市山下町）	9/28～30	-	6	6
第 164 回	京都 B	京都テルサ（京都市南区）	10/7～9	-	20	20
第 165 回	東京 A	国立オリンピック記念青少年総合センター（渋谷区代々木）	10/12～14	34	-	34
第 166 回	長野 B	長野バスターミナル会館（長野市岡田）	11/2～4	-	16	16
第 167 回	東京 B	中野サンプラザ（中野区中野）	12/7～9	-	35	35
合計				69名	77名	146名

#### 4) 現任者及びフォローアップ等の各種研修及び研究事業、支援事業（主催、講師派遣、受託による事業等）

##### 各種現任者のためのレクリエーションの学習機会の提供

公認指導者一人ひとりの活動の質を高めるための知識や技術を提供する講習事業を下記の様々な講習事業を介護領域等公認指導者が活動する領域の専門家、団体・機関と連携して実施した。

##### ア．介護領域の関連団体との連携・共同企画による介護レクリエーション研修の実施

- ・千葉県老人保健施設協議会、新潟県介護福祉士会、さいたま市社会福祉協議会、JA 神奈川県中央会、大田区役所、諏訪市社会福祉協議会、佐倉市役所など。延べ 280 名参加

##### イ．関連領域団体との連携・共同企画による子どもの健全育成、子育て支援、教育のためのレクリエーション研修の実施

- ・東京都小児総合医療センター、群馬県長寿社会づくり財団、さいたま市社会福祉協議会など。延べ 170 名参加

##### 遊び込み体験指導者養成講習会（幼児教育レクリエーション・セミナー）の開催

< 子どもゆめ基金助成事業 >

保育・幼児教育領域の現任者を対象に、レクリエーション支援のスキルを提供するセミナーを開催した。特に「遊び込み体験」をキーワードに、発達心理や幼児体育、幼児教育の専門家によるパネルディスカッションとそれぞれの実践プログラム、参加者同士の情報交換を行った。

（東京会場） 開催日 平成 24 年 6 月 3 日（日）

開催場所 大妻女子大学多摩キャンパス 東京都多摩市唐木田  
 参加人数 113名  
 (新潟会場) 開催日 平成25年1月27日(日)  
 開催場所 新潟会館 新潟市中央区  
 参加人数 117名

スキルアップ講習事業の教材や教授法等の開発 提供のための事業

有資格者フォローアップ事業(セミナー等)及び講師トレーニングセミナー等に関するプログラム作成支援及び講師派遣を行った

障がい者、介護高齢者のためのスポーツ指導者養成事業(介護レクリエーション・セミナー)

<スポーツ振興くし助成事業>

主に福祉・介護領域の現任者を対象に、スポーツ・レクリエーション支援のスキルを提供するセミナーを開催した。本セミナーを受講することにより、福祉レク・ワーカー養成スクーリングの単位の一部となる制度も本年度から導入した。

開催地	会場	日程	受講者数
京都A	京都テルサ(京都市南区)	8/18~20	27名
鹿児島A	かごしま県民交流センター(鹿児島市山下町)	8/24~26	6名
長野A	長野バスターミナル会館(長野市岡田)	8/31~9/2	5名
鹿児島B	かごしま県民交流センター(鹿児島市山下町)	9/28~30	13名
京都B	京都テルサ(京都市南区)	10/7~9	18名
東京A	国立オリンピック記念青少年総合センター(渋谷区代々木)	10/12~14	5名
長野B	長野バスターミナル会館(長野市岡田)	11/2~4	18名
東京B	中野サンプラザ(中野区中野)	12/7~9	18名

子どもの体力向上につながる「記録に挑戦ゲーム」指導者養成及び記録会

<スポーツ振興くし助成事業>

ア.「記録に挑戦ゲーム」普及審判員を養成する人材(資格認定員)養成講習会の開催

- ・開催日:平成25年1月26日(土)・27日(日)(2日間)
- ・開催場所:大阪(アネックスパル法円坂(大阪市教育会館))
- ・参加対象:各都道府県から2名代表者選出 計94名の参加
- ・講習内容
  - 1.カラダを動かし"記録に挑戦することを楽しむ5種目"の紹介と審判法。
  - 2."記録に挑戦ゲーム"チャレンジ・ザ・ゲームのねらいと魅力
  - 3.資格認定員の任務と普及審判員の養成方法

イ.資格認定員養成講習会参加者による、普及審判員養成講習会の開催

- ・各都道府県レク協会ごとに、1月~3月に全国各地で開催
- ・20名×47都道府県=940名育成

講習会を行なったことによって、都道府県に本事業を展開する上での格となる人材が生

まれ、全国各地で”記録に挑戦ゲーム”を実際に普及・推進する普及審判員を生むことにつながった。“記録に挑戦ゲーム(チャレンジ・ザ・ゲーム)”普及審判員は今後、全国いたるところで記録会を展開し、子どもたちが遊びを通して自然にカラダを動かすことの楽しさを体感させ、スポーツや運動を苦手としない子ども達を多く増やすことが期待される。

また、全国に本事業をPRするチラシを配布しながら、参加の機会を多くつくるきっかけづくりとなった。

子どものコミュニケーション能力促進リーダー講習会 <子どもゆめ基金助成>

\*活動期間： 1月13日(日)～2月23日(土)

\*開催場所： 札幌市民ホール(北海道) 福井県立図書館(福井県)、  
岡山県生涯学習センター体育館(岡山県) 鹿児島市勤労者交流センター(鹿児島県)  
奈良市中部公民館(奈良県) 静岡県青少年会館(山口県)…6カ所

\*参加者数：延べ213名

現代社会において、子どもたちはテレビゲーム・携帯ゲームによるバーチャルなあそびの氾濫により、コミュニケーション能力や協調性に欠ける子ども達の増加が指摘されている。そこで、本事業では、様々なレクリエーションのプログラムを用いて、楽しみながら自然に子ども同士のコミュニケーション能力、協調性や集団行動ができるように導ける指導者の養成を目的に開催した。

地域や学校で子どもに接するリーダー等が参加し、子供同士がレクリエーション・プログラムを用いながら心を解きほぐし、仲間同士が打ち解けていく仮定を学習。また1対1対人での会話・コミュニケーションのとりこずの学習。さらに、グループがリーダー主導からグループごとに主体性を持って活動を展開する過程を体感的に学んでいただくことができた。6会場とも講習内容への興味・関心が高く次年度の開催に期待している。

#### 企業領域での研修事業

公認指導者資格及び生涯学習体系に基づくレクリエーション学習の普及・促進にむけた、学習内容の開発及び企業サイドの評価を把握するための社員研修事業を行った。

- ・古河電気工業労働組合：11月 受講者30名
- ・(株)タクティール：1月～3月に全国6会場での選抜された社員120名に対する研修

#### 人材養成 資格認定事業の改善に向けた研究事業

有識者の助言に基づき、調査研究に先立つ実績開発として、介護領域への就労支援事業及び社会教育主事研修でのレクリエーション講習の企画・実施及び評価を行った。また、評価をホームページなどを通して公開した。

- ア．福祉領域の施設団体、職能団体等との連携・共同企画によるレクリエーション講座
  - ・世田谷区社会福祉事業団によるキャリアアップ支援事業への参画(レクリエーション講習部分の企画・実施)：7月及び10月 受講者50名 評価例92点(満足度)
  - ・横浜市社会福祉協議会によるキャリアアップ支援事業への参画(レクリエーション講習部分の企画・実施)：9月 受講者60名 評価例92点(満足度)
- イ．社会教育主事研修の実施主体との連携・共同企画によるレクリエーション講座
  - ・東北大学の社会教育主事研修への参画(レクリエーション講習部分の企画・実施)：8月 受講者100名 評価例92点(満足度)うち現職教員は94点の評価
  - ・国立教育政策研究所の社会教育主事研修への参画(レクリエーション講習及び生涯

スポーツ部分の企画・実施：2月 受講者 80名 評価例 91点（満足度）うち現職  
教員は 93点の評価

## (2)公認指導者の審査、認定に関する事業と資格制度の仕組みの再構築

### 1) 審査及び認定・登録の実施

#### レクリエーション・インストラクターの審査 認定登録

区分	審査期日 会場	登録者数
一般	各都道府県レク協会にて実施	866名
課程認定校	各学校の学内審査により実施	7,040名
その他	課程認定校教員のための養成講習会 / 日本レク協会にて実施	13名
合計		7,919名

#### 余暇開発士の審査 認定登録

区分	審査会期日 会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	平成 25 年 2 月 28 日（書類による審査）	1名	1名	1名
課程認定校 （1校）	各学校の学内審査により実施			6名
合計				7名

#### レクリエーション・コ・ディネーターの審査 認定登録

区分	審査会期日 会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	平成 25 年 2 月 9・10 日（福井）	12名	12名	平成 25 年度 に登録予定
	平成 25 年 3 月 2 日（神奈川）	9名	8名	8名
	平成 25 年 3 月 3 日（岡山）	14名	13名	13名
	平成 25 年 3 月 3 日（福岡）	5名	5名	5名
一般合計		40名	38名	26名
課程認定校 （9校）	各学校の学内審査により実施	55名	55名	43名
合計				95名

#### 福祉レクリエーション・ワーカーの審査 認定登録

区分	審査会期日 会場	受験者数	合格者数	登録者数
一般	平成 24 年 9 月 11 日（東京）	17名	15名	14名
	平成 25 年 2 月 9 日（鹿児島）	4名	4名	4名
	平成 25 年 2 月 10 日（京都）	15名	14名	14名
	平成 25 年 2 月 11 日（長野）	9名	9名	9名
	平成 25 年 2 月 16 日（東京）	24名	23名	22名
一般合計		69名	65名	63名

課程認定校 (31校)	各学校の学内審査により実施	474名	395名	389名
合計				515名

公認指導者資格の更新 (平成25年3月31日現在)

(単位:人)

資格名	予定者数	更新者数	更新率
レクリエーション・インストラクター	31,832	19,952	62.7%
余暇開発士	515	368	71.5%
レクリエーション・コーディネーター	1,231	1,088	88.4%
福祉レクリエーション・ワーカー	2,997	2,196	73.3%
のべ人数	36,575	23,604	64.5%

公認指導者数 (平成25年3月31日現在)

資格名	人数
レクリエーション・インストラクター	69,458名
余暇開発士	965名
レクリエーション・コーディネーター	2,714名
福祉レクリエーション・ワーカー	6,096名
合計	79,233名

2) 資格認定委員会の開催

< 第1回委員会 >

日時 : 2012年9月28日(金) 13:30~15:30

場所 : 文京シビックセンター5階 区民会議室A

< 第2回委員会 >

日時 : 2013年2月28日(木) 14:00~16:00

場所 : 文京区民会議室 3F 会議室C

< 第3回委員会 >

日時 : 2013年3月20日(水・祝) 14:00~16:00

場所 : 文京区民会議室 3F 会議室C

\* 委員会における主な議題

ア. 福祉レクリエーション・ワーカー認定審査

イ. レクリエーション・コーディネーター認定審査

ウ. 平成25年度新規課程認定校審査

エ. 公認指導者養成カリキュラムの策定

これまでの経過と今後のすすめ方及び検討過程における課題

- オ．レクリエーション・インストラクター認定審査
- カ．福祉レクリエーション・ワーカー資格認定審査の実技審査方法について
- キ．平成 24 年度学内審査の実施状況
- ク．福祉レクリエーション・ワーカー認定審査におけるビデオ審査の成果とレクリエーション・コーディネーター認定審査におけるビデオ審査導入について

< 資格認定委員会委員 >

工藤 智規（委員長） 蟻塚 昌克 川廷 宗之 田中 祥子  
 河津 英彦 福田 芳則 柿本 因子 浅野 祥三（敬称略）

3) レク・インストラクター養成事業の見直し改善

スポーツ基本法の理念の実現を支えるスポーツ・レクリエーション事業及びスポーツ・レクリエーション支援者の育成を、地方自治体とレクリエーション協会が共同して実施できる環境づくりのために、文部科学省との協議を開始した。

(3)人材育成事業 研修事業の広報強化

1) 月刊 Recrew (レクルー) 誌の発行 < (財)日本宝くし協会助成事業 >

題号を「REC」から「Recrew (レクルー)」にリニューアルして3年目。読者のライフスタイルを豊かにし、仕事や地域でのレクリエーション活動に役立つ情報の提供と、より読みやすいデザインを心がけて編集した。東日本大震災の被災地でのレクリエーションによる支援活動についても、昨年に引き続き掲載。被災地支援でよく行われる音楽を使った活動やチャレンジ・ザ・ゲームのようなリズム運動についても特集を組んだ。

さらに、都道府県レク協会と共に取り組む文部科学省委託事業や、レクリエーションの活用・効果をテーマとした特集も設けるなど、レクリエーション及びレクリエーション協会の認知度を上げていくための紙面作りを視野に入れた企画・制作を行った。

< 紙媒体発行 >

号 別	特 集
平成 24 年 4 月号	心を育てる「場」-どんな工夫で心は育つ？
平成 24 年 5 月号	仲間がいるからできる！
平成 24 年 6 月号	子どもの「元気」をつくる！
平成 24 年 7 月号	もっと「体話」しよう！
平成 24 年 8、9 月合併号	レクリエーションは「脳」に効く？！
平成 24 年 10 月号	みんなで応援！元気世代！！（ニューエルダー）
平成 24 年 11 月号	音楽はゲンキの源！！
平成 24 年 12、平成 25 年 1 月合併号	保育・幼児教育の現場で、レクはもっと活用できる！
平成 25 年 2 月号	みんなで楽しむスポーツ・レクリエーション
平成 25 年 3 月号	リズム運動で、心も体も元気！

## 2) 専門資格取得者向け情報誌「Rec-site (レクサイト)」の発行・提供 ( )

23年度よりレクリエーション・コーディネーター、福祉レクリエーション・ワーカー専門資格を持つ公認指導者へ向けた専門情報誌を発行。専門性をより高めた内容を目ざし、企画・制作を行った。

24年度は、スポーツ基本計画に基づいた事業を都道府県レク協会とともに取り組み、そうした中に障がい者と健常者の交流事業も含まれたため、発達障がいと知的障がいをテーマとした vol.3 号、スポーツ基本法とスポーツ基本計画をテーマとした vol.4 号をそれぞれ企画・制作した。

### <Rec-site (レクサイト) 発行>

号別	発行	特集
Vol.3	平成 24 年 8 月 1 日	理解する-発達障がい・知的障がいとレクリエーション-
VOL.4	平成 25 年 2 月 1 日	スポーツレクリエーションで日本を元気に!

## 3) ホームページの拡充

一般向けサイト、公認指導者専用サイト、都道府県レク協会サイト、課程認定校サイト、サービスセンターサイト等による情報発信・収集と事務手続きが円滑に行われるよう、管理運営を行った。

また、課程認定校制度等について大学、短期大学、専門学校等に向けた独自サイトを設置。トップページにバナーを設け、レクリエーションの学習課程についての周知を図った。

レク・オンラインのフロントページという位置づけで、「Smile for all」のページを新設。レクリエーション運動を推進する 4 つの主要事業を提示するとともに、広報の発信力の強化を図った。

### <新しく設置したページおよびバナー>

「レクリエーションは元気づくり」(レクリエーション協会の使命を掲載)

「Smile for all」(4 つの主要事業を提示し、広報の強化を図る)

「Rec School Start」(新規課程認定校の獲得)

### <情報発信頻度> (2012/04/01 ~ 2013/03/31)

「TOPICS」 / 118 回

「あそび.net」 / 245 件

「Team Recrew Activity Report」 / 60 回

## 4) ツイッターを活用した情報発信

レクリエーション関連情報の発信とレクリエーション関係者とのつながりを目的として、ツイッター上での情報発信を昨年度より継続。約 500 回の情報発信を行い、2700 を越えるフォロワーとのネットワークを維持している。

## 2.加盟団体への組織支援及び地域組織等の育成 強化

### (1)加盟団体組織強化への支援

国等の委託事業、全国レベルの大会、会議等、各種事業を通じて、レクリエーション運動推進を支える加盟団体への支援・助成を進めた。

#### 加盟団体運営代表者会議

本協会に加盟する都道府県レク協会、種目団体、領域団体が一堂に会し、レクリエーション運動の方向性や課題について検討するとともに、1年間の取り組みを相互に評価する場として、平成24年度加盟団体運営代表者会議を2日間にわたり東京において開催した。

1日目は、都道府県レク協会、種目団体の2つの分科会に分かれ（領域団体はいずれかに参加）それぞれが抱える課題についての議論、情報交換を行った。2日目は、都道府県レク協会との議論、情報交換、本協会から加盟団体へのお願い事項及び各種情報提供を行った。

期 日 平成24年12月4日（火）～5日（水） 1泊2日

開催会場 国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者 日本レクリエーション協会加盟団体運営代表者

#### 有資格者支援施策検討会議の開催

都道府県レク協会に共通する課題である有資格者の活動の活性化支援及び、新たなレクリエーションの担い手の育成について、各都道府県レク協会より1名の参加を得て、以下の通り会議を開催した。

期日 平成24年10月2日（火）～3日（水）

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター

#### ブロックごとの連携 協力

都道府県レク協会との連携・協調を深めるとともに、全国6ブロックの協力体制の充実及び組織強化・連携調整のための支援を行うため、各ブロックから選出された幹事県と連携し、各種課題について討議するとともに、ブロック間の交流や情報交換の場となる会議を年2回開催、同会議へ職員を派遣した。

#### <平成24年6月のブロック会議開催>

ブロック名	日 程	開催地	幹事県
北海道・東北	6月16日（土）～17日（日）	青森	青森
関東・甲信越	6月15日（金）	東京	東京
東海・北陸	6月10日（日）～11日（月）	三重	三重
近畿	6月15日（金）～16日（土）	大阪	奈良
中国・四国	6月21日（木）～22日（金）	岡山	岡山
九州・沖縄	6月16日（土）～17日（日）	佐賀	長崎

#### <平成24年2～3月ブロック会議開催>

ブロック名	日 程	開催地	幹事県
北海道・東北	2月16日(土)~17日(日)	青森	青森
関東・甲信越	2月21日(木)~22日(金)	東京	東京
東海・北陸	2月17日(日)~18日(月)	三重	三重
近畿	3月15日(金)~16日(土)	大阪	奈良
中国・四国	2月21日(木)~22日(金)	岡山	岡山
九州・沖縄	2月16日(土)~17日(日)	福岡	長崎

加盟団体向けガバナンス強化事業

<スポーツ振興くし助成事業>

法律、経営面に関する専門家（弁護士、税理士、公認会計士）の指導・助言を受け、本会の加盟団体に対するガバナンスを強化する研修会・会議を実施し、コンプライアンスの強化、リスクマネジメントの徹底、組織マネジメントの機能強化を図った。

加盟団体の創立記念事業、法人化事業等の式典への役職員の出席及び各種アドバイス、必要に応じた職員の派遣

## (2) 都道府県レク協会との連携による市町村レク協会等の地域組織の育成 強化

レクリエーション公認指導者の新たな活動の場となる事業への支援を通じて、指導者の活動の活性化と地域組織の育成につながる取り組みを行った。あわせて活動の促進及び資質向上等への支援の強化と指導者登録の更新率向上に向けたしくみの改善や情報発信の充実等に取り組んだ。

地域コミュニティ創造レクリエーションモデルプログラム

<スポーツ振興くし助成事業>

地域で活動をしていない公認指導者資格を結集（事業実施グループとして結成）し、まずは小さくても、活動のはじめの一歩としてのスポーツ教室、あるいはスポーツ情報の提供などのアクションを住民に対して起こすモデルづくりを全国11カ所で行った。

なお、本事業は日本スポーツ振興センターの助成を受けて実施した。

ア．実施地区

新潟県 山梨県 長野県 岐阜県2ヶ所 兵庫県 愛媛県2ヶ所  
福岡県2ヶ所 長崎県

イ．実行委員会開催

指導者の結集と市民向けの事業の企画、事業以降の継続に向けた評価のための会議を各地区4回実施

ウ．市民向け事業の実施

10月～12月にかけて、集まった指導者の趣味や得意なスポーツ種目等を活かしながら、地域住民を対象としたスポーツ・レクリエーション行事を実施。

新規市町村レク協会の設立

平成24年度、全国で10地区市町村レク協会が新たに設立された。

北海道 しべちゃレククラブ  
北海道 中空知レクリエーション協会

新潟県	柏崎市レクリエーション協会
山梨県	富士・東部レクリエーション協会
長野県	諏訪市レクリエーション協会
岐阜県	下呂市レクリエーション協会
静岡県	静岡市総合レクリエーション協会
静岡県	島田市レクリエーション協会
熊本県	芦北町レクリエーション協会
鹿児島県	南さつまレクリエーション協会

市町村レク協会等地域における公認指導者の組織化の促進

ア．有資格者の活動を基盤とした市町村レク協会の育成、活性化を目的に、各団体からの要請や組織の状況により個別支援を行った。

イ．訪問活動として、市町村レク協会の創立記念事業（式典）へ役職員の派遣を行った

### (3) 既存組織の活性化を支援する事業の実施

#### 1)あそびの城づくり推進事業 (参加登録地区への支援)

平成 16 年度より文部科学省の「子どもの居場所づくり推進事業（事業委託 / 3 力年）」としてスタートした「あそびの城」づくり推進事業は、平成 19 年度から自主的なレクリエーション事業として全国で展開しており、平成 24 年度については、趣旨に賛同する都道府県・市町村のレク協会やレク指導者のグループにより、全国 51 地区( 実施地区一覧参照)にて事業を展開した。

また、子どもの体力向上につながる活動プログラムを実施するあそびの城については、日本スポーツ振興センターの助成を受け、活動支援を実施した。

\* 参加登録

- ・ 本事業に参加登録いただいた各地区の取り組みを全国展開事業として広く P R を行う。
- ・ 参加登録地区は、日本レク協会、都道府県レク協会の主催（共催、後援など）として実施。

\* 子どもの体力向上プログラムの提供

< スポーツ振興くじ助成 >

- ・ 参加登録地区のうち、46 地区については、子ども体力向上プログラムを 3 ～ 5 回実施した

\* 情報の共有、発信

- ・ 「あそびの城」通信による情報発信及び収集
- ・ 活動報告、レポート等による情報収集（ 通信、ホームページ情報の収集）

平成 24 年度「あそびの城」づくり推進事業参加登録実施地区一覧

都道府県	市町村名	実施主体名称	回数	参加者
北海道	砂川市	滝川レクリエーション協会「あそびの城」実行委員会	12	360

青森県	むつ市	むつ・下北地区レクリエーション協会	4	400
青森県	八戸市	公益社団法人日本3B体操協会青森県支部青森八北グループ	8	320
秋田県	秋田市	秋田市レクリエーション協会	15	225
福島県	伊達市	伊達市レクリエーション協会	20	600
福島県	福島市	福島市レクリエーション協会	17	340
群馬県	高崎市	群馬地区スポーツクラブ「あそびの城」	12	360
千葉県	鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市レクリエーション協会あそびの城	5	500
千葉県	袖ヶ浦市	袖ヶ浦市レクリエーション協会	14	350
千葉県	船橋市	NPO 法人船橋レクリエーション協会	6	60
千葉県	四街道市	四街道市レクリエーション協会	20	1400
千葉県	茂原市	茂原市レクリエーション協会	12	360
東京都	練馬区	泉新小あそびの城実行委員会	21	1260
新潟県	新潟市	新津レクリエーション協会	20	500
新潟県	村上市	村上市レクリエーション協会	30	450
新潟県	長岡市	希望が丘コミュニティ推進協議会	290	8700
石川県	金沢市	(財)石川県レクリエーション協会あそびの城実行委員会	20	400
石川県	金沢市	(財)石川県レクリエーション協会あそびの城実行委員会	20	1600
福井県	福井市	福井県レクリエーション協会あそびの城実行委員会	37	555
山梨県	中央市	中央市レクリエーション友遊クラブ	20	500
山梨県	甲斐市	アストレ	12	360
岐阜県	各務原市	川島スポーツレクリエーション協会	25	1250
岐阜県	岐阜市	城西げんき広場	17	340
静岡県	静岡市	静岡市あそびの城	12	132
京都府	京丹後市	網野あそびの城	27	1080
兵庫県	高砂市	高砂市レクリエーション協会	11	968
奈良県	奈良市	奈良市グリーンホールあそびの城	15	375
奈良県	大和郡山市	大和郡山市レクリエーション協会	12	240
奈良県	生駒市	生駒市レクリエーション協会	6	90
鳥取県	米子市	西部レクリエーション協会	40	800
島根県	松江市	まつえレクリエーション協会	15	300
岡山県	和気郡	佐伯レクリエーションクラブ和話環 KIDS 実行委員会	141	987
山口県	宇部市	宇部市レクリエーション協会あそびの城うべ実行委員会	12	420

徳島県	海部郡	ゆきあそびの城	10	300
徳島県	板野郡	NPO 法人徳島県レクリエーション協会	6	360
徳島県	板野郡	藍住レクリエーションクラブ	20	800
福岡県	春日市	春日あそびの城	50	1500
福岡県	大野城市	大野城市あそびの城	7	210
佐賀県	唐津市	からつ市レクリエーション協会	11	165
佐賀県	多久市	多久レクリエーションサークル丹邱	5	125
佐賀県	神埼市	神埼市レクリエーション協会	8	320
佐賀県	佐賀市	佐賀市レクリエーション協会	5	110
佐賀県	佐賀郡	佐賀県レクリエーション協会	5	175
佐賀県	武雄市	武雄市レクリエーション協会	9	180
佐賀県	鳥栖市	鳥栖市レクリエーション協会	6	120
佐賀県	三養基郡	かみみね町レクリエーション協会	5	100

## 2) ボランティアを活用した東日本大震災被災者の健康づくりと住民交流促進事業 < 厚生労働省補助事業 >

全国社会福祉協議会、全国老人クラブ連合会、課程認定校と連携協力し、講習カリキュラム、教材等を作成し、全国9実施地域で、都道府県レク協会等地域レク組織が中心となり以下の事業を実施。

ア．既に健康づくり・介護予防に取り組むボランティア等の人材を対象としたレクリエーションの講習の実施

イ．上記アの受講者が、学習成果を活かして、当該地域に避難してきた東日本大震災被災者と従来より地域に住む方との交流の集いを実施

また、訪問調査、アンケート調査（受講者や集い参加者）を行い、健康づくりと地域での交流促進に関するレクリエーションの効果についても明らかにした。

また、成果を専用ホームページに掲載。各地域で活用できる教材（講習テキスト）を電子ファイルにして自由にダウンロードできるようにした。こうした成果の活用を促進するために、成果を紹介するチラシを全国市区町村の関連部局等に配布した。

### < 実施地域 >

北海道七飯町（レクリエーション協会）、福島県伊達市（レクリエーション協会）、東京都東大和市（レクリエーション協会）、新潟県柏崎市（県レクレーション協会）、新潟県村上市（レクリエーション協会）、大阪府大阪市（課程認定校）、大阪府箕面市（課程認定校）、岡山県高梁市（社会福祉協議会）、広島県広島市（課程認定校）、佐賀県佐賀市（県レクリエーション協会）

## (4) 加盟団体の活動及びその成果に関する広報の強化

## 日本レク協会の情報媒体を通じての広報

都道府県及び市町村のレク協会及び加盟種目・領域団体等の活動とその成果について、月刊「レクルー」、専門資格者向け「レクサイト」、協会ホームページ、ツイッター等を通じて外部への広報の拡充を図った。

## あそび活用研究フォーラム～子どもが変わる、子どもを変える～

<子どもゆめ基金助成>

子どもたちにあそびを意図的、計画的、継続的に活用しながら提供することにより得られる効果や意義を広く発信するためのシンポジウムを2会場で開催した。

なお、東日本会場については、「大震災を経た今、子どものあそびを再考する」をサブテーマとして開催した。

### ア．西日本会場

期 日 平成24年10月20日(土)

開催会場 広島県情報プラザ地下2階多目的ホール

参加者 68名

### イ．東日本会場

期 日 平成24年11月23日(金・祝)

開催会場 岩手教育会館

参加者 187名

## 都道府県レク協会会報の月刊レクルー同送による情報提供支援

都道府県レク協会の業務軽減及び通信費等のコスト削減につなげる支援策として、都道府県レク協会が発行する会報等を月刊レクルー同封で発送するサービスを実施

### 3. イベント、大会、教室等の事業拡充によるレクリエーション運動の推進

#### (1) 全国規模の大会等のイベント事業の活性化

##### 1) 第66回全国レクリエーション大会 INふくい

主 催：(公財)日本レクリエーション協会、福井県レクリエーション協会、  
福井県、福井県教育委員会、福井市、福井市教育委員会、  
福井市レクリエーション協会、敦賀市、敦賀市教育委員会、  
大野市、大野市教育委員会、大野市レクリエーション協会、  
鯖江市、鯖江市教育委員会、あわら市、あわら市教育委員会、  
越前市、越前市教育委員会、越前市レクリエーション協会、  
坂井市、坂井市教育委員会、坂井市レクリエーション協会、  
越前町、越前町教育委員会

共 催：文部科学省

後 援：総務省、環境省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、林野庁、人事院、  
日本放送協会、(財)日本宝くじ協会、(公財)日本体育協会、  
(公社)全国スポーツ推進委員連合、(一社)日本新聞協会、  
(社福)全国社会福祉協議会、(財)福井県体育協会、福井新聞社、  
福井放送株式会社、福井テレビジョン放送株式会社、  
(公財)福井観光コンベンションビューロー

期 日：平成24年9月21日(金)～9月23日(日)

開 催 地：福井県内各会場

参加対象：レクリエーション関係者、行政、教育関係者、一般市民など

内 容：「研究フォーラム」「種目別全国交流大会」「フェスティバル」  
「開会式、式典」

今大会より文部科学省が共催となり、福井県では49年ぶりとなる2度目の開催。

「いっちょらい<sup>2</sup> 福井<sup>9</sup>でつむぐ<sup>1</sup> レクごころ」のスローガンのもと、福井弁や福井の工芸、名所、食など福井らしさを随所に取り入れ、福井県内7市1町を会場に、全国各地から約1万5千人の参加者を得て、実施した。

大会期間中、総合開会式等の式典のほか、研究フォーラム34セッション、種目別全国交流大会12種目、特別行事18、特別協賛行事6、協賛行事8のプログラムを展開した。また、次年度以降の開催地「福岡県、福島県」の『トリプル福』の3県合同で、のぼり旗やタペストリーを制作したり、交歓の夕べをお弁当つきで屋台で使えるチケット制を初めて取り入れるなど新しい取り組みも実施した。さらに、運営面では県内の課程認定校の学生が積極的に関わり、明るい笑顔と親しみやすい声かけで、全国からの参加者をお迎えし、好評を得た。

##### 2) 全国一斉「あそびの日」キャンペーン2012

もう一度「あそび」の楽しさや大切さを知ってもらおうと、5月を中心とした約2ヵ月間をキャンペーン期間とし、全国各地で「あそびの日」を設け、さまざまな「あそび」の場の提供を展開するイベントを開催した。

また、子どもたちだけではなく、大人たちにとっても貴重な機会とし、子どもとふれ合いながら一緒に楽しむ中で、大人になって忘れかけていたものを、取り戻す機会としても実施。

今年度は、友だち同士のふれあい、家族のきずな、地域との交流と、さまざまな局面での「つながり」を深めることのほか、東日本大震災復興支援を後押しすることを狙いに、「日本を元気に！」をテーマとして、全国一斉「あそびの日」キャンペーンを展開した。

テーマ 日本を元気に！

開催期間 2012年4月21日(土)～6月10日(日)

主催 公益財団法人 日本レクリエーション協会

共催 都道府県レクリエーション協会／一般財団法人 日本ユースホステル協会  
一般財団法人 休暇村協会／一般財団法人 公園財団

全国後援 文部科学省／厚生労働省／総務省／全国市長会／全国町村会／  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会、社団法人 中央青少年団体連絡協議会

#### プログラムの内容

子どもたちと家族がふれあい、きずなが深まり、地域住民のつながりが生まれる様々な「あそび」の活動、イベントを展開。

スポーツ大会／体験イベント／自然あそび／クラフト／料理づくり／昔あそび  
ウォーキング・イベント／踊り／ダンス／体操の会／運動会／チャレンジゲーム大会など、大小さまざまな活動やイベントを実施

#### < キャンペーン実施プログラム数、および参加者数 >

本協会加盟団体をはじめ、共催団体として公園財団、休暇村協会、ユースホステル協会にも参画いただき、全体で888のプログラムを展開。全国で216,374人の参加者があった。プログラム数、参加者数は以下のとおり。

団体名	プログラム数	参加者総数(人)
(公財)日本レクリエーション協会	316	75,048人
(一財)公園財団	31	55,737人
(一財)休暇村協会	292	19,079人
(一財)日本ユースホステル協会	249	66,510人
合計	888	216,374人

#### 3) 全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会(年間通じての開催)

いつでも、どこでも、記録に挑戦するゲームとして平成元年からスタートしている「全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会」を今年度も引き続き実施した。

やっておもしろく、見て楽しい、本大会への記録応募申請件数は1457件あり、種目としてはペア・リング・キャッチ、キャッチング・ザ・スティック、ネット・パス・ラリーが多かった。

\*実施期日 平成24年4月1日から平成25年3月31日までの1年間

#### 4) 第4回 ロープジャンプ小学生No1決定戦

全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム種目「ロープ・ジャンプ・エクストラ」による小学生大会「第4回パナソニック・キッズスクールCUP ロープジャンプ小学生No.1決定戦」を株式会社フジテレビと共催し、パナソニック株式会社の特別協賛を得て開催した。

\* 地区予選大会(全国9地区)

(ア) 中国地区予選大会

【期日】 2013年1月12日(土)

【会場】 廿日市市スポーツセンター サンチェリー(広島県)

【主催】 テレビ新広島/フジテレビジョン/日本レクリエーション協会

【共催】 広島県レクリエーション協会

- 【後援】 広島県教育委員会 / 広島市教育委員会
- 【協力】 山陰中央テレビ / OHK 岡山放送
- 【特別協賛】 パナソニック株式会社
- (イ) 東北地区予選大会
  - 【期日】 2013年1月14日(月・祝)
  - 【会場】 多賀城市総合体育館(宮城県)
  - 【主催】 仙台放送 / フジテレビジョン / 日本レクリエーション協会
  - 【共催】 宮城県レクリエーション協会
  - 【協力】 岩手めんこいテレビ / 秋田テレビ / さくらんぼテレビ / 福島テレビ
  - 【特別協賛】 パナソニック株式会社
- (ウ) 北海道地区予選大会
  - 【期日】 2013年1月19日(土)
  - 【会場】 北海道立総合体育センター 北海きたえーる(北海道)
  - 【主催】 北海道文化放送 / フジテレビジョン / 日本レクリエーション協会
  - 【共催】 北海道レクリエーション協会
  - 【特別協賛】 パナソニック株式会社
- (エ) 関東・甲信越地区予選大会
  - 【期日】 2013年1月27日(日)
  - 【主催】 フジテレビジョン / 日本レクリエーション協会
  - 【会場】 中央大学 多摩キャンパス 第1体育館(東京都)
  - 【共催】 東京都レクリエーション協会
  - 【協力】 NST / NBS 長野放送
  - 【特別協賛】 パナソニック株式会社
- (オ) 沖縄地区予選大会
  - 【期日】 2013年2月3日(日)
  - 【会場】 西崎総合体育館(沖縄県)
  - 【主催】 沖縄テレビ / フジテレビジョン / 日本レクリエーション協会
  - 【共催】 沖縄県レクリエーション協会
  - 【特別協賛】 パナソニック株式会社
- (カ) 東海・北陸地区予選大会
  - 【期日】 2013年2月9日(土)
  - 【会場】 愛知県武道館(愛知県)
  - 【主催】 東海テレビ放送 / テレビ静岡 / フジテレビジョン / 日本レクリエーション協会
  - 【共催】 愛知県レクリエーション協会
  - 【協力】 富山テレビ / 石川テレビ / 福井テレビ
  - 【特別協賛】 パナソニック株式会社
- (キ) 九州地区予選大会
  - 【期日】 2013年2月10日(日)
  - 【会場】 かすやドーム(福岡県)
  - 【主催】 テレビ西日本 / フジテレビジョン / 日本レクリエーション協会
  - 【共催】 福岡県レクリエーション協会
  - 【協力】 STS サガテレビ / KTN テレビ長崎 / TKU テレビ熊本 / テレビ大分 / UMK テレビ宮崎 / KTS 鹿児島テレビ
  - 【特別協賛】 パナソニック株式会社
- (ク) 四国地区予選大会

- 【期日】 2013年2月16日(土)  
 【会場】 伊予市民体育館(愛媛県)  
 【主催】 テレビ愛媛/フジテレビジョン/日本レクリエーション協会  
 【共催】 愛媛県レクリエーション協会  
 【協力】 高知さんさんテレビ/OHK 岡山放送  
 【特別協賛】 パナソニック株式会社

(ケ) 近畿地区予選大会

- 【期日】 2013年2月17日(日)  
 【会場】 パナソニックアリーナ(大阪府)  
 【主催】 関西テレビ放送/フジテレビジョン/日本レクリエーション協会  
 【共催】 大阪府レクリエーション協会  
 【特別協賛】 パナソニック株式会社

\* グローバル予選大会

中国、ベトナム、ブラジル等の国外7カ国において43チームの参加を得て実施した。

\* 決勝進出チーム

選抜地区	学校名	チーム名	予選ポイント
北海道	札幌市立清田緑小学校(北海道)	二代目 Dream 絆-'s 33	7,878pt
東北地区	花巻市立矢沢小学校(岩手県)	矢勝!!	5,534pt
	村田町立村田小学校(宮城県)	O.O.Bonds	5,188pt
関東・甲信越	川口市立舟戸小学校(埼玉県)	舟戸学園なわとびクラブ 絆	6,986pt
	南魚沼市立浦佐小学校(新潟県)	がんばれ浦佐小! ミラクルキッズA	4,180pt
東海・北陸	豊田市立若園小学校(愛知県)	若園 Blossoms	7,580pt
近畿	交野市立倉治小学校(大阪府)	龍王山	7,548pt
	西宮市立瓦林小学校(兵庫県)	K.B.Hoppers	7,214pt
中国	広島市立神崎小学校(広島県)	GKK	4,580pt
四国	西予市立宇和町小学校(愛媛県)	宇和町小ロープジャンプクラブA	6,030pt
九州	糸島市立桜野小学校(福岡県)	SAKURANO25	6,822pt
沖縄	那覇市立垣花小学校(沖縄県)	花っこ GOLDEN GENERATION	5,440pt
海外ベトナム	ビン ツィ小学校	TEAM HANOI	3,690pt

\* 「第4回ロープジャンプ小学生No.1決定戦」決勝大会の開催

- 【期日】 2013年3月24日(日)  
 【会場】 大田区総合体育館(東京都)  
 【主催】 フジテレビジョン/日本レクリエーション協会  
 【共催】 北海道文化放送/仙台放送/テレビ静岡/東海テレビ放送/関西テレビ放送/テレビ新広島/テレビ愛媛/テレビ西日本/沖縄テレビ  
 【後援】 文部科学省  
 【特別協賛】 パナソニック株式会社  
 【決勝大会の結果】

- 優勝: 愛媛県西予市立宇和町小学校 宇和町小ロープジャンプクラブA  
 準優勝: 大阪府交野市立倉治小学校 龍王山  
 3位: 埼玉県川口市立舟戸小学校 舟戸学園なわとびクラブ 絆  
 3位: 兵庫県西宮市立瓦林小学校 K.B.Hoppers

## 4.東日本大震災復興にかかる支援事業

東日本大震災支援事業（[笑顔 Again]プロジェクト）

東日本大震災で甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県のレクリエーション協会を中心として、被災者へのレクリエーションによる2年目の支援活動を実施した。

平成24年度の支援活動の総計は、被災3県を中心に553回（岩手県181回、宮城県220回、福島県152回 参考:23年度679回）となり、約13,300人の被災者を支援することができた。また、これらの活動に2,362人の公認指導者が関わった。（注：被災県・市町村レク協会に関わる活動をまとめたもので、公認指導者が個人で行った活動や課程認定校、加盟種目団体の活動等は加えていない。支援した被災者数は、支援活動の形態で把握が難しかった場合の数は加えていない。）

岩手県レク協会は県内10市町村で、主に高齢者を対象とした健康づくりに取り組んだほか、みなし仮設住宅や借り上げ住宅に住む被災者の支援も行った。昨年に引き続き遠野市レク協会の子どもたちを支援する活動も行われ、県内の地域レク協会も定期的な支援活動を行った。

宮城県レク協会も仙台市レク協会、おおさきレク協会、しちがはまレク協会などの地域レク協会とともに、仙台市、東松島市、七ヶ浜町、美里町、亘理町等の7地域で定期的な支援活動を実施した。

福島県レク協会も福島市、二本松市、相馬市の5つの仮設住宅で定期的な活動を実施。借り上げ住宅に住む被災者の支援活動も9月から開始した。子どもたちの支援にも力を入れ、保育所や幼稚園、小学校などでの運動遊びを行う支援活動や、相馬市の体育館での子どもの遊び場づくり「出張あそびの城」などを行った。

支援活動の実施にあたっては、スポーツ振興くじと子どもゆめ基金の助成事業を申請し、198回の支援活動を行うとともに、福島市にて子どもたちの成長を促すあそびの支援方策について考えるシンポジウムを開催した。また、放射線の問題で外あそびが制限された福島県の子どもたちを対象としたネイチャー&レクリエーション楽宿を実施した。

こうした支援活動を行うにあたり、支援に関わる人材育成を行ったほか、社会福祉協議会等からの要請を受けて、レクリエーションを活用できる支援者育成も行い、被災3県で30回を超える研修会が行われ、700人近いボランティア、生活支援員等が参加した。

また、宮城県女川町社会福祉協議会と宮城県レク協会、日本レク協会の三者で、「災害復興に向けたレクリエーション支援に関する協定」を締結。現在、町民の健康づくり、生きがいくくり、コミュニティづくりでのレクリエーションを介した支援に連携・協力して取り組んでいる。

このほか、被災地で身元確認をしやすいようにスタッフのユニホームを配布。月刊レクルー及び震災支援のためのホームページにおいての広報活動も継続している。

### 1) レクリエーション活動を通じた被災地の健康づくり・コミュニティづくり支援活動

<スポーツ振興くじ助成事業>

被災地での支援活動

岩手県、宮城県、福島県を中心に、避難所・仮設住宅の集会所などでレクリエーション活動を実施した。

避難所や仮設住宅集会所でのレクリエーションによる支援活動は、合計 198 回(岩手県 49 回、宮城県 113 回、福島県 36 回)。こうした活動にともない、スタッフ研修やボランティア育成の試みも行われた。

ネイチャー&レクリエーション楽宿 2012 <スポーツ振興くし助成事業>

放射線や仮設住宅での生活により外あそびが制限されている福島県内の子どもたちを対象としたキャンプを t o t o 助成を受けて実施。プログラムはニュースポーツ、ハイキング、水鉄砲づくり、スイカ割り、野外炊飯、キャンプファイヤーなど。虫さされ等の軽微なものを除き、大きな事故やけがはなく、無事終了した。

・参加者数：

第 1 期：7 月 2 3 日(月)～7 月 2 5 日(水) 89 名(男子 46 名、女子 43 名)

第 2 期：7 月 2 6 日(木)～7 月 2 8 日(土) 92 名(男子 45 名、女子 47 名)

第 3 期：7 月 2 9 日(日)～7 月 3 1 日(火) 94 名(男子 34 名、女子 60 名)

・参加対象地域：福島市、郡山市、二本松市、伊達市、相馬市、南相馬市、新地町

・場所：国立那須甲子青少年自然の家

・後援：文部科学省、福島復興局、福島県、福島県教育委員会

・スタッフ(実数)

日本レクリエーション協会職員 8 名

公認指導者ボランティア 21 名

学生ボランティア 45 名

レクリエーション・ボランティアの研修・養成 <スポーツ振興くし助成事業>

宮城県、福島県のレクリエーション協会、レクリエーション・ボランティアの研修、養成を行った。下記の研修について、当該県レクリエーション協会と共催し、ボランティアの養成を行った。

・宮城県亘理町

「レクリエーション・ボランティアセミナー高年齢者コース/子どもコース」

高年齢者コース\*9 月 7 日(金) 09:30～12:30

子どもコース\*9 月 14 日(金) 09:30～12:30

場所：悠里館 3 階視聴覚ホール(亘理町字西郷 140)

参加者：各 51 名

・福島県

「レクリエーション・ボランティアセミナー」

日時：介護・認知症予防コース 平成 24 年 10 月 6 日（土）10:00～16:30

子ども・子育てコース 平成 24 年 10 月 8 日（祝・月）10:00～16:30

場所：福島県青少年会館（福島市黒岩字田部屋 5 3-5）

参加者：各 23 名

・宮城県美里町

「平成 24 年度町民福祉講座/レクリエーション・ボランティアセミナー in みさと あそび塾」

日時：平成 25 年 3 月 2 日（土）\*09:30～15:30

場所：美里町駅東地域交流センター 多目的ホール

参加者：96 名

ユニホームの配布と活動情報の公開

レクリエーションによる支援を行う際、スタッフの身元を明確にするためのユニフォームを作成し配布した。ホームページ、機関誌を通して、活動状況を公表し、随時更新を行った。

震災支援活動に関するホームページを設置し、毎月のレポートと 40 以上の各地の最新情報を掲載し、活動の様子を広く周知することができた。

被災地支援活動の情報提供パンフレットの作成 <スポーツ振興くじ助成事業>

被災 3 県での支援活動の情報をまとめ、3 県全体及び各県ごとの情報提供パンフレットを作成。被災者支援に関わる機関に配布した。

2)シンポジウム等での活動報告

<子どもゆめ基金助成事業>

【笑顔 Again】子どもたちの成長を促すあそびの支援方策について考えるシンポジウム  
～東日本大震災の現場での事例から見る子どもへの支援とは～こころとからだを考える

期日：平成 25 年 3 月 9 日

場所：福島県青少年会館

参加者数：150 人

放射線の影響で外あそびが制限され福島県で、子どもの運動能力の向上と心の安定を、どのように支援していくのかを考えるシンポジウムを開催した。

午前中は、レクリエーション・コーディネーターの有本征世さん、久保誠治さん(熊本 YMCA)によるあそびのワークショップを実施。室内という限られた空間で行うことができる心身に効果的な「あそび」の紹介した。

午後は、中村和彦さん(山梨大学大学院 教育学研究科教授)、井上孝之さん(岩手県立大学 社会福祉学部准教授)をパネリストに迎えてのシンポジウムを行い、子どもたちの運動量の確保や心の安定に向けた様々な提案をした。

## 5.新スポーツ基本計画に伴うスポーツ・レクリエーションの振興を推進する事業の展開

### (1) おやこ元気アップ！事業

< 文部科学省委託事業 >

子どもの体力向上を推進するために、子どもへの直接的な取り組みに加え、保護者に対して、子どもの体力向上や生活習慣の重要性について理解を促す本事業について、文部科学省より委託を受けて実施した。

#### 実行委員会等の開催

「おやこ元気アップ！事業」の実施に向けた基本的事項に関する企画・立案及び募集や実施方法等を定める委員会を開催した。また、実行委員会で協議すべき事案等について、一部の実行委員と事務局等にて作業部会を設けて協議を行った。

#### 実行委員会委員（50音順、?印は委員長）

品川区立小中一貫校伊藤学園統括校長 青木哲男  
(公財)日本レクリエーション協会 常務理事兼事務局長 浅野祥三  
(社)全国幼児教育研究協会 副理事長 岡上直子  
慶応義塾大学体育研究所 教授 佐々木玲子  
山梨大学 教育人間科学部 教授 中村和彦  
立教大学 コミュニティ福祉学部 教授 松尾哲矢

#### 元気アップコーディネーター講習会の開催

「おやこ元気アップ！事業」の運営の中核を担う人材として「元気アップコーディネーター」を各会場に配置し、実施している。4年目の実施にあたり、各県新たに2名のコーディネーターを対象に元気アップコーディネーターとして必要な本事業の運営ノウハウを学習するために開催した。

(ア)開催期日及び会場 平成24年5月12日(土)?13日(日)

国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

(イ)ねらい 「おやこ元気アップ！事業」の実施に不可欠な事業の重要性や子どもの体力の現状について理解するとともに、事業の広報やPR、コーディネーターおよび事務担当者の役割、事業の運営・進行に必要な事務手続きについて学習する。

(ウ)対象 平成24年度の「おやこ元気アップ！事業」を行う都道府県レク協会から推薦されたコーディネーターおよび事務を担当する都道府県レク協会の事務担当者

#### (エ) 主なプログラム

本事業と本講習会のねらいについて

「おやこ元気アップ！事業」が目指すもの Part 1～プログラムの内容と理解～

「おやこ元気アップ！事業」が目指すもの Part 2～取り組むべきことを考えよう～

「おやこ元気アップ！事業」の事務処理 1

小学校教育から見た「おやこ元気アップ！事業」の重要性

子育てしゃべり場の実際

「おやこ元気アップ！事業」の事務処理 2

子どもの体力の現状と課題

幼児教育からみた「おやこ元気アップ！事業」の重要性

「おやこ元気アップ! 事業」が目指すもの Part 3~ 目指すコーディネーター像とは~

**「おやこ元気アップ! 事業」参加者用教材「おやこで touch!」配布**

平成 21 年度まで実施していた「元気アップ親子セミナー」用教材冊子「touch」の内容を基に、新たな内容も加えた教材「おやこで touch!」を配布した。

**リーフレット「おやこ元気アップ! 事業のご案内」配布**

本事業の趣旨や特徴等をまとめたリーフレットを作成し、都道府県レク協会だけでなく、都道府県教育委員会等にも文部科学省を通じて配布した。

**「おやこ元気アップ! 事業」の実施**

都道府県レクリエーション協会に委託して全国 101 会場で実施した。

開催県	開催箇所数	参加者数	開催県	開催箇所数	参加者数
北海道	4	356名	滋賀県	2	203名
青森県	2	167名	京都府	2	185名
岩手県	2	246名	大阪府	1	130名
宮城県	2	134名	兵庫県	2	627名
秋田県	2	190名	奈良県	2	303名
山形県	2	282名	和歌山県	2	186名
福島県	4	298名	鳥取県	1	108名
茨城県	2	239名	島根県	2	97名
栃木県	3	241名	岡山県	2	212名
群馬県	2	214名	広島県	2	294名
埼玉県	3	296名	山口県	2	154名
千葉県	2	199名	徳島県	2	417名
神奈川県	2	154名	香川県	2	239名
東京都	2	193名	愛媛県	2	238名
新潟県	3	403名	高知県	2	203名
富山県	2	246名	福岡県	2	199名
石川県	1	174名	佐賀県	3	319名
福井県	2	163名	長崎県	2	216名
山梨県	2	187名	熊本県	3	301名
長野県	2	417名	大分県	2	213名
岐阜県	3	412名	宮崎県	2	165名
静岡県	2	166名	鹿児島県	2	204名
愛知県	2	158名	沖縄県	2	269名
三重県	2	143名	合計	101	11,160名

**「おやこ元気アップ! 事業」報告会議**

各団体が「おやこ元気アップ! 事業」を開催した成果と課題を報告し、子どもの体力向上に資する取組のあり方について協議した。

(ア) ねらい 「おやこ元気アップ! 事業」を開催した成果と課題を報告し、子どもの体力向上に資する取組のあり方について協議。今後の各地での事業の実施に活かすことを目的とする。

(イ) 開催期日及び会場 平成 25 年 2 月 23 日(土)~24 日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

(ウ) 主なプログラム

\*データで見る「おやこ元気アップ! 事業」の成果

講師: 松尾哲矢(おやこ元気アップ! 事業委員、立教大学コミュニティ福祉学部教授)

\*おやこ元気アップ! 事業

～次年度以降の継続した取組にむけて「各地からの事例」～

- シンポジウム 島根県・徳島県・神奈川県

コーディネーター：中村和彦（おやこ元気アップ！事業委員、山梨大学教育人間科学部教授）

\* おやこ元気アップ！事業

今後継続した取組に向けて、今できること～ - グループワーク

講師：松尾哲矢（おやこ元気アップ！事業委員、立教大学コミュニティ福祉学部教授）

1日目のグループワークの振り返りと発表

講師：松尾哲矢（おやこ元気アップ！事業委員、立教大学コミュニティ福祉学部教授）

\* 「おやこ元気アップ！事業」の総括

～元気アップコーディネーターに贈る言葉～

講師：岡上直子（おやこ元気アップ！事業委員、社団法人全国幼児教育研究協会副理事長）

青木哲男（おやこ元気アップ！事業委員、品川区立小中一貫校伊藤学園統括校長）

松尾哲矢（おやこ元気アップ！事業委員、立教大学コミュニティ福祉学部教授）

中村和彦（おやこ元気アップ！事業委員、山梨大学教育人間科学部教授）

\* 今後の日本レクリエーション協会の取組

（公財）日本レクリエーション協会 常務理事兼事務局長 浅野祥三

#### 広報記事制作と掲載

スポーツ・レクリエーション関係者をはじめ、当該事業を広くアピールするための広報記事を作成、スポーツ・レクリエーション関係団体への掲載を図った。

#### 調査の実施

以下の調査を実施し、事業の評価を行った。

(ア) 「おやこ元気アップ！事業」参加者当日調査

参加保護者に各プログラム内容等についての評価や本事業後に求めるフォローなどを調査。開催会場では、アンケート内容を分析し、事後のレクリエーション支援の基礎情報として役立てた。

(イ) 「おやこ元気アップ！事業」主催者調査

開催会場において、「元気アップコーディネーター」の役割を担った人を対象として調査し、事前準備以降の活動についての評価や要望等を提供いただいた。

(ウ) 実施会場視察調査

「おやこ元気アップ！事業」開催団体のいくつかについて、開催当日の内容等の確認の目的で実行委員会委員および当会事務局が視察調査を行った。

視察対象団体：6/16 愛媛県四国中央市農村環境改善センター会場

6/17 徳島県吉野川市立森山小学校会場

8/12 富山県滑川市総合体育センター会場

#### 平成24年度事業報告書の制作と配布

平成24年度実施団体からの報告内容を報告書として整理し制作した。また、制作した報告書を都道府県教育委員会、市町村教育委員会、都道府県レク協会、市町村レク協会等に配布した。

## ホームページの管理運営

- (ア) おやこ元気アップ！事業」ホームページの管理  
本事業の目的や当日プログラム内容など、本事業を周知する内容を作成し、掲載した。
- (イ) おやこ元気アップ！事業」の取組地域の情報掲載  
平成24年度の取組結果を作成し、掲載した。
- (ウ) 子どもの体力向上ホームページの管理運営  
広く国民に体力の重要性や、運動スポーツに親しみ体を動かすことの楽しさをアピールするために「子どもの体力向上ホームページ」を開設している。子ども一人ひとりのニーズに対応し、子ども自らが日常生活の中で主体的に運動・スポーツに親しむ態度や習慣を身につけていくことの重要性について情報提供を行った。  
ポスター標語の募集および入賞作等の掲載  
体育の日中央記念行事・スポーツ祭り2012の募集および開催報告  
平成23年度体力・運動能力調査結果の掲載  
ロープ・ジャンプ・エクストラホームページの開設  
メール等での問い合わせへの対処

## (2) 高齢者の体力づくり支援事業

< 文部科学省委託事業 >

平成24年度の新規受託事業として、標記事業を実施した。実施内容は以下の通り。

### 1) 本事業を進めるための支援委員会等の設置

#### 支援委員会の開催

高齢者の体力づくりや男性の地域社会への参加促進に造詣の深い有識者、高齢者の体力づくりに実績のある実技指導者、地域スポーツ団体関係者などからなる支援委員会を設置し、委員会での検討をもとに事業を展開した。

開催回数 : 5回

開催場所 : 立教大学池袋キャンパス 12号館会議室

TKP御茶ノ水カンファレンスセンター

#### ワーキング(作業部会)会議の開催

上記支援委員会のもとに下記のワーキンググループを設置し、実施を展開した。

#### (ア) ニューエルダー元気塾ワーキング

開催回数 : 3回

開催場所 : 立教大学新座キャンパス 5号館 6階会議室

#### (イ) レク式体力チェックワーキング

開催回数 : 2回

開催場所 : 日本レクリエーション協会会議室

TKP御茶ノ水カンファレンスセンター

#### (ウ) スポーツ・レクリエーションサポーター養成講座

開催回数 : 4回

開催場所 : 日本レクリエーション協会会議室

#### (エ) トライアル事業評価ワーキング

開催回数 : 8回

開催場所 : 立教大学池袋キャンパス 12号館会議室

大阪府レクリエーション協会、大阪府体育協会

事務局会議の実施

開催回数 : 16 回

開催場所 : 立教大学ウェルネス研究所  
日本レクリエーション協会会議室他、各所

トライアル事業視察

(ア) ショッピングセンターでウォーキングイベント

開催回数 : 1 回

開催場所 : 新潟県村上市

(イ) 女性のためのニューエルダーエクササイズ講座

開催回数 : 1 回

開催場所 : 富山県魚津市

(ウ) 自然の楽しみ方を学ぶ講座

開催回数 : 1 回

開催場所 : 埼玉県秩父市

(エ) 定年夫の育て方講座

開催回数 : 1 回

開催場所 : 岐阜県本巣市

2) 高齢者のスポーツ・レクリエーション活動への参加を促進するための普及事業としての「ニューエルダー元気塾」

- ・ 47 都道府県にて、各 1 地区で開催
- ・ 全国共通ツール(のぼり、チラシ表面、教材テキスト、教材DVD)を制作
- ・ 実施責任者を対象とした説明会および、報告会を実施

<説明会>

日時: 平成 24 年 7 月 16 日(月・祝) 12:00-17:00

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター

<報告会>

日時: 平成 25 年 3 月 8 日(金) 12:00~9 日(土) 12:00

場所: 国立オリンピック記念青少年総合センター

- ・ 実施責任者または、担当者を対象としたスマートスポーツ研修会を実施

<東京会場>

日時: 平成 24 年 9 月 1 日(土) 12:00~16:00

場所: 味の素スタジアム体育室

<大阪会場>

日時: 平成 24 年 9 月 8 日(土) 12:00~16:00

場所: 大阪社会体育専門学校体育室

<宮城会場>

日時: 平成 24 年 9 月 17 日(月・祝) 12:00~16:00

場所: 元気フィールド仙台小体育室

<福岡会場>

日時: 平成 24 年 9 月 30 日(日) 12:00~16:00

場所：竜岩自然の家ホール

3) 高齢者のスポーツ・レクリエーション活動への参加を促進するための支援者養成事業としての「スポーツ・レクリエーションサポーター養成講座」

- ・全国6地区にて開催
- ・全国共通ツール（チラシ表面、教材テキスト、ネームプレート）を制作
- ・実施責任者または、担当者を対象としたスマートスポーツ研修会を実施（日時、会場は同上）

4) 高齢者のスポーツ・レクリエーション活動への参加を促進するためのプログラム・仕組開発としての「トライアル事業」

個別のテーマを1地区で実施する事業に加え、スポーツ・レクリエーション活動への導入から生活の中に定着した段階である継続活動への発展をめざし、ターゲットと地域を限定して複数の事業を展開する包括トライアル事業を実施した。

包括トライアル事業

ア) まちスポプロジェクト<大阪府熊取町>

まちスポプロジェクトは、地域のスポーツ新聞「まちスポ新聞」の発行、地域のスポーツ大会観戦を呼びかける事業、早朝からスポーツ・レクリエーションを楽しむ事業を通じて、地域の「見るスポーツ」「するスポーツ」を一体的に盛りあげようという試みとして実施。

単発トライアル事業

イ) ショッピングセンターでウォーキングイベント<新潟県村上市>

ウォーキングはニューエルダーに人気が高く、多くの方に親しまれる種目であることがわかっている。冬季、特に積雪のある地域では雪や寒さがウォーキングの障害となってしまう場合があるが、ショッピングセンターをコースにすれば、屋内で暖かく安全に楽しむことができる。会場となる店舗側もシューズ・ウエアなど関連商品の購買が期待できるうえ、めずらしいイベントとしての話題性も高い。

ウ) 女性のためのニューエルダーエクササイズ講座<富山県魚津市>

ニューエルダー女性は地域や家族の要であり、かつ人を元気にさせるいわばエンジンである。この年代での運動・スポーツの習慣化の有無が、後期高齢期の健康状況を大きく左右する。そこで特に女性を対象とした講座を実施した。

エ) 自然の楽しみ方を学ぶ講座<埼玉県秩父市>

当講座は初心者が自然の楽しみ方を学ぶための内容だが、「食う」「寝る」「あそぶ」の3テーマについて、本格的なノウハウを身につけられる集中講座であり、火おこしから調理までを体験するなどワイルドな内容も含む。仲間づくりも視野に入れ、1泊2日で開催した。

オ) 定年夫の育て方講座<岐阜県本巣市>

当講座は「妻の力を借りて夫を地域スポーツに連れ出してもらうこと」を目的とする。そのために、妻が「卒サラ」(サラリーマンを卒業)した夫の心理をよく知り、気持ちよく送り出すための会話術を学ぶ。夫婦で楽しめる運動、スポーツ・レクリエーションを体験してもらい、夫が出かけていくためのきっかけづくりをめざす。

5) 高齢者のスポーツ・レクリエーション活動への参加を促進するための啓発として「カラダの教養」をテーマにした「シンポジウム」

開催回数 : 2回

開催場所 : 御堂会館大ホール(大阪府大阪市)

銀座ブロッサム(東京都中央区)

基調講演 : 立原啓裕(大阪会場)

椎名誠(東京会場)

パネルディスカッション

: コーディネーター 武井正子(大阪会場)

松尾哲矢(東京会場)

パネラー 石井直方/羽鳥操(大阪、東京会場)

参加者数 : 224名(大阪会場)

411名(東京会場)

パネルディスカッション終了後、レク式体力チェック体験会を開催

6) 報告書の作成・配布

以下の内容からなる報告書を作成・配布した。

ア)「ニューエルダー元気塾」の実施報告

イ)「スポーツ・レクリエーションサポーター養成講座」の実施報告

ウ)各トライアル事業の実施報告(4事業)

エ)レク式体力チェックについて

オ)シンポジウムの実施報告

体裁はA4判/128頁/表紙・本文4色。写真、図表等を入れ、わかりやすく読みやすい紙面とし、市町村のスポーツ振興担当者や総合型地域スポーツクラブマネージャーが支援施策を企画・立案する際に参考となる内容とした。

作成した報告書は都道府県、市町村のスポーツ振興担当者及び全国の広域スポーツセンター、総合型地域スポーツクラブに送付した。

(3) 健全者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業

< 文部科学省委託事業 >

障がいのあるなしにかかわらず誰もが、いつでも、どこでも、仲間と共にスポーツ・レクリエーション活動(以下スポ・レク活動)を楽しめる社会の実現(スポーツ基本法の理念の実現)

に向けて文部科学省が初めて取り組む事業を受託し、実施した。  
研究者や全国社会福祉協議会、障害者スポーツ協会、日本障がいフォーラムなど関連領域の団体から構成した協力者会議のもとで以下の事業を実施した。

交流イベント実践研究：全国 14 都道府県 14 実施地域で、都道府県レク協会が中心となり以下の事業を実施。

ア．事後地域で自主的、継続的に展開するための社会福祉協議会や行政なども加えた実行委員会をつくり、地域の状況、参加者の特徴に応じた事業を企画。

イ．障がいのある参加者と障がいのない参加者が、スポーツ・レクリエーション活動をとくもに楽しみ交流を深めるイベントの実施

ウ．上記イベントの企画、準備、運営を担うスタッフのトレーニングの実施

エ．アンケート等の実施

ア～エの実践地域での実績を踏まえて『障がいのある人とない人のスポーツ・レクリエーション交流事業企画ガイド』を作成し、文部科学省に納めるとともに、地方自治体（生涯スポーツ関連セクション及び障がい者支援セクション）に配布した。なお、企画ガイドは、平成 25 年度の委託事業だけでなく全国の自治体で独自に実施する場合にも活用される。

シンポジウム：全国レクリエーション大会と連携して、シンポジウム「スポーツ・レクリエーションの新たな可能性～障がいのある人もない人も共に生きる社会へのアプローチ」を開催した。また、成果をまとめたシンポジウム報告書を地方自治体（生涯スポーツ関連セクション及び障がい者支援セクション）に配布した。

専用ホームページ：本事業のねらいや概要、実践地域（ ）の実際などを掲載したホームページ（スポーツ・レクリエーションの新たな可能性～障がいのある人もない人も共に生きる社会へのアプローチ）を開設、運営した。

<実践地域>

福島県レク協会、新潟県レク協会、栃木県レク協会、山梨県レク協会、長野県レク協会、静岡県レク協会、岐阜県レク協会、三重県レク協会、京都府レク協会、大阪府レク協会、兵庫県レク協会、岡山県レク協会、佐賀県レク協会、大分県レク協会

#### (4) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進のための調査研究

##### < 文部科学省委託事業 >

本事業は、さまざまなライフステージに応じたスポーツ活動の推進策のうち、特にスポーツ実施率の低い 20・30 代について、昨年度、文部科学省より委託を受けて本会が実施した「20・30 代の運動・スポーツに関する意識調査」の詳細な分析と事例調査研究、およびそれらを踏まえたトライアル事業の実施と評価に基づき、支援策を検討、策定することを目的として実施。

その際、今はスポーツに親しんでいない 20・30 代の人々をスポーツに誘う入り口としてのスポーツ・レクリエーション機会の提供方を明らかにするとともに、さらに継続的にスポーツ活動を行うことにつなげる 20 の支援策を策定。そのうち 10 の支援策については、実際にトライアル事業として実施し、参加者、主催者に対するアンケートから事業評価を行い、成果と課題を明らかに報告書を取りまとめた。

トライアル事業名	実施地区	実施団体
オフィスポ・プロジェクト	富山県富山市八尾町	NPO 法人 やつおスポーツクラブ
素敵ママ・スポーツプロジェクト	滋賀県甲賀市	こうかさスケクラブ
キャンパス・レクリエーション	千葉県市川市	帝京平成大学(千葉キャンパス)総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
街コン+スポーツ露店	栃木県宇都宮市	栃木県レクリエーション協会
レアスポーツフェスタ	神奈川県川崎市	NPO 法人 SELF
成人式でスポーツ新歓	埼玉県志木市	NPO 法人クラブしっきーず

## (5) その他のスポーツ振興事業

### 1) 平成 24 年度「体育の日」中央記念行事 スポーツ祭り 2012

【開催期日】: 平成 24 年 10 月 8 日 (月・祝) 8 時 30 分 ~ 15 時 30 分

【会 場】: 味の素ナショナルトレーニングセンター、  
国立スポーツ科学センター (JISS)、味の素フィールド西が丘、  
赤羽スポーツの森公園競技場 ほか

【主 催】: 文部科学省、(公財)日本体育協会、(公財)日本オリンピック委員会、  
(公財)日本レクリエーション協会、(独)日本スポーツ振興センター、  
NPO 法人日本オリンピック協会、読売新聞社

【後 援】: (財)JKA、NHK、東京都、北区、北区教育委員会、板橋区、  
板橋区教育委員会

【参加者数】: のべ 14,000 名

【実施内容】: 開会式、オリンピックふれあい大運動会、オリンピックふれあいジョギング、各種スポーツ体験&教室、新体力テスト、キッズ・スポーツ科学ランド、スポーツアドベンチャーワールド、親子でアスリート食体験、フェンシング体験「エペで突いてみよう」、ロープ・ジャンプ(大なわとび)体験、レッツ・チャレンジ!おもしろスポーツ、ボート体験コーナー、おもしろ自転車コーナー、自転車キッズ検定・体験、ウォーキングスタンプラリー、フラッグフットボール体験、東北を食べて応援!スポーツ祭り特製ちゃんこ鍋 ほか

### 2) 生涯スポーツ・体力づくり全国会議 2013

文部科学省、関連団体と共に生涯スポーツ環境の整備を目指し、スポーツ振興に携わる各界各層の方々が一堂に会して、豊かなスポーツライフの実現について検討し、その方向性を探った。

【主 催】: 文部科学省、生涯スポーツ・体力づくり全国会議実行委員会

【(公財)日本体育協会、(公財)日本レクリエーション協会、  
(公財)日本体育施設協会、(公財)スポーツ安全協会、  
(公社)全国スポーツ推進委員連合、(公社)スポーツ健康産業団体連合会、

(公財)日本障害者スポーツ協会、(公財)健康・体力づくり事業財団、  
宮崎県教育委員会】

【後 援】: 体力づくり国民会議

【日 時】: 平成25年1月25日(金) 10:00~19:00

【開催地】: 宮崎県宮崎市

【参加者】: 地方公共団体関係者、スポーツ・レクリエーション団体関係者、各主催業  
界関係者、学識経験者、その他関係者 705名

【内 容】: 表彰式

全体会

基調講演 「アスリートの育成とスポーツを通じた社会貢献」

講師: 平井伯昌

シンポジウム 「スポーツ界における好循環の創出」

コーディネーター: 内山俊哉

パネリスト: 菊山直幸、桑田健秀、萩原智子

分科会(第1分科会~第5分科会)

展示

情報交換会

### 3) 総合型地域スポーツクラブ創設支援事業および自立支援事業

< スポーツ振興くじ助成事業 >

本事業は、日本レク協会がレクリエーション運動の基本方針として掲げている「レクリエーション有資格者や加盟団体とともに、公益性をより一層高めるレクリエーション活動の展開」を目指し、拠点型事業の実施機会として位置づけて行った。

? 創設支援地区: 千葉県柏市の1地区

? 自立支援地区: 神奈川県川崎市、愛知県碧南市、静岡県川根本町の3地区

## 6.レクリエーション活動のための用具・書籍等の販売及び開発

本事業は、広く国民が様々なレクリエーション活動に親しみ、心身の健康と生きがいづくり、コミュニケーションの促進につながる一助として、レクリエーションに係る用具・書籍等の販売を行なう事業である。

また、レクリエーションの普及・啓発を拡充させるとともに、本協会や都道府県の協会にとっても、実施する公益事業の継続及び拡充のための基盤整備に不可欠な事業である。

今年度は、特に以下のような事業を展開し販路の拡大を行なうと共に販売収益のより一層の増額を目指した。

- \* 介護予防、子育て支援、スポーツライフをサポートする新たな用具・書籍の開発と発掘に努めると共に、商品の特徴や使い方がユーザーにより分かりやすく、また楽しさをビジュアルに伝わるようにカタログの内容の改善を行ない、各関係者から高い評価を得た。
- \* レクリエーション用具の一つ「マンカラ」が脳へ与える影響や「チャレンジ・ザ・ゲーム」と神経細胞との関係など、科学者による研究分析を取り入れ、心身への効果を科学的に説き、月刊誌等で広く広報し、レクリエーションを科学的にアピールしていくきっかけが生まれた。
- \* 販促ルートの拡大を図り「東京おもちゃショー」や「吉本興業イベント」「東北キッズフェスティバル」などのイベントにブースを出展し、本協会が扱うレクリエーション商品を体感してもらうと同時に販路を広げた。
- \* 今年度も引き続き、東日本大震災の復興支援につなげるチャリティーTシャツ等の販売を進め、その売上金によるレクリエーションを通じた支援事業に寄与することができた。
- \* オリジナル商品の開発と都道府県レク協会からの推薦用具を募集し、平成25年度に向けて20品目の新商品を開発を進めた。
- \* 各地で行なわれる「フォローアップ講習会」や「助成講習会事業」中でレクリエーション用具を用いた内容が取り入れられ、その使用法や指導法がより理解される機会を多く得た。

今後も一層、社会のニーズに応えるレクリエーション運動・事業と密着した用具・書籍等の販路の拡大を進め、元気な社会・地域づくりに貢献し得るものとする。

## 7.その他の事業

### 1) 顕彰制度及びその他事務局運営に関わる事業

#### 生涯スポーツ功労者表彰(文部科学大臣表彰)

地域におけるスポーツ・レクリエーションの健全な普及及び発展に貢献し、功績顕著なレクリエーション指導者を、日本レクリエーション協会が推薦し下記の方々が生涯スポーツ功労者として認められ、平成24年10月5日(金)中央合同庁舎第7号館3階講堂(東京都千代田区)にて文部科学大臣より表彰された。

石橋 輝夫 氏	長崎市レクリエーション協会	会長
片山 淳子 氏	3B体操指導士等	
川上 トサ 氏	埼玉県レクリエーション協会	常任理事等
斉藤 春子 氏	山梨県レクリエーション協会	理事
佐藤 黎子 氏	宮城県ゲートボール連盟	副理事長等
武内 靖子 氏	立山町レクリエーション協会	副理事長
寺村 義伸 氏	滋賀県ユニカール協会	会長
堀込 進 氏	群馬県レクリエーション協会	理事
宮林 香代子氏	京都府フライングディスク協会	理事
横田 真佐子氏	熊本県レクリエーション協会	講師

#### 文部科学大臣社会教育功労者表彰

平成24年度は、本授賞の該当者はなかった。

#### 内閣府 エイジレス章

平成24年度は、エイジレス章の該当者はなかった。

#### レクリエーション運動普及振興功労者表彰(理事長表彰)

レクリエーション運動の普及・発展に多大なる功績をあげた方を、加盟団体より推薦を受け、福井県で開催された、「第66回全国レクリエーション大会INふくい」において表彰した。

*被表彰者	都道府県レクリエーション協会推薦	104名
	種目・領域加盟団体推薦による推薦	10名
	合計	114名

#### 紺綬褒章

平成24年度は、紺綬褒章の該当者はなかった。

### 2) 会議等の開催

#### 理事会

##### 第1回 書面臨時理事会

書面送付日 平成24年4月13日(金)

書面締切日 平成24年4月20日(金)

##### <議案>

国際スポーツチャンバラ協会の退会と公益社団法人日本スポーツチャンバラ協会の加盟について

第2回 平成24年6月14日(木) 15:00~17:00  
TK-WESTビル1号館 6階

<議 案>

平成23年度 事業報告(案)の承認について  
平成23年度 収支決算報告(案)の承認について  
新評議員候補の推薦について  
就業規則などの改正(案)について  
第69回全国レクリエーション大会の開催誘致について

第3回 平成25年3月14日(木) 15:00~17:00  
TK-WESTビル1号館 6階

<議 案>

平成25年度 事業計画(案)について  
平成25年度 収支予算(案)について  
評議員会の開催について

#### 評議員会

定時評議員会 平成24年6月21日(木) 15:00~17:00  
TK-WESTビル1号館 6階

<議 案>

平成23年度 事業報告(案)の承認について  
平成23年度 収支決算報告(案)の承認について  
新評議員候補の推薦について

[平成24年度 都道府県別公認指導者数一覧]

(平成25年3月31日現在)

	所属協会	指導者数	レク・インストラクター	余暇開発士	レク・コーディネーター	福祉レク・ワーカー	のべ人数
01	北海道レク協会	3,515	3,438	8	99	63	3,608
02	青森県レク協会	1,322	1,262	2	22	93	1,379
03	(特)岩手県レク協会	1,402	1,345	5	48	74	1,472
04	(特)宮城県レク協会	1,768	1,595	6	81	163	1,845
05	秋田県レク協会	772	719	2	35	42	798
06	山形県レク協会	671	549	6	17	127	699
07	(特)福島県レク協会	1,662	1,587	7	46	90	1,730
08	茨城県レク協会	1,655	1,468	19	53	335	1,875
09	栃木県レク協会	1,437	1,387	9	40	267	1,703
10	群馬県レク協会	1,717	1,666	8	24	118	1,816
11	埼玉県レク協会	2,310	2,208	44	78	160	2,490
12	千葉県レク協会	2,129	2,019	58	100	116	2,293
13	(特)神奈川県レク協会	2,434	2,320	52	100	89	2,561
14	(社)東京都レク協会	3,739	3,444	123	200	296	4,063
15	(社)新潟県レク協会	3,119	3,027	132	112	598	3,869
16	(特)富山県レク協会	963	920	9	43	37	1,009
17	(財)石川県レク協会	595	572	8	29	36	645
18	福井県レク協会	767	719	6	36	120	881
19	山梨県レク協会	305	292	8	10	8	318
20	長野県レク協会	1,461	1,416	13	58	68	1,555
21	(特)岐阜県レク協会	1,359	1,302	7	42	106	1,457
22	静岡県レク協会	1,998	1,873	20	74	214	2,181
23	愛知県レク協会	3,471	3,269	17	152	250	3,688
24	(社)三重県レク協会	1,352	1,294	7	64	104	1,469
25	滋賀県レク協会	569	520	10	34	53	617
26	京都府レク協会	912	855	12	51	55	973
27	(公財)大阪府レク協会	3,172	2,954	61	172	210	3,397
28	(特)兵庫県レク協会	3,045	2,900	100	91	236	3,327
29	(特)奈良県レク協会	394	368	11	23	20	422
30	和歌山県レク協会	651	624	4	24	44	696
31	鳥取県レク協会	495	476	3	16	35	530
32	島根県レク協会	865	841	4	29	41	915
33	岡山県レク協会	1,433	1,313	13	60	272	1,658
34	広島県レク協会	2,546	2,181	45	92	366	2,684
35	(社)山口県レク協会	1,256	1,215	10	47	107	1,379
36	(特)徳島県レク協会	1,022	909	5	16	111	1,041
37	(特)香川県レク協会	1,118	1,103	4	14	27	1,148

38	(特)愛媛県レク協会	1,433	1,393	8	27	90	1,518
39	高知県レク協会	760	747	1	13	19	780
40	(特)福岡県レク協会	3,231	3,081	52	168	137	3,438
41	佐賀県レク協会	742	726	8	14	161	909
42	(特)長崎県レク協会	1,482	1,449	5	34	58	1,546
43	熊本県レク協会	1,355	1,329	4	26	46	1,405
44	大分県レク協会	1,233	1,188	9	46	65	1,308
45	宮崎県レク協会	1,076	1,041	4	42	49	1,136
46	鹿児島県レク協会	1,542	1,442	12	59	269	1,782
47	沖縄県レク協会	1,154	1,112	4	53	51	1,220
	合計	73,409	69,458	965	2,714	6,096	79,233